

2018年4月東莞・深圳中国国際人材交流会参加報告

2018年4月28日

熊澤壽人

日時 2017年4月10日～17日

場所 東莞市、深圳市

【1】2018年東莞海外ハイレベル専門家交流プロジェクトクツフェアー

日時 2018年4月12日(木)

場所 東莞 Cinese Hotel 会場

参加者 日本技術士会 海外活動支援委員会 鈴木陸夫、熊澤壽人

概要

午前：開幕式 世界 70 か国以上が招待され関係者の挨拶や関係者のスピーチが行われた。元国家外国専門家局夏副局長は、組織変更で、中国人民共和国夏鳴九党組成員で大会最高責任者として参列。



開幕式



夏鳴九党組成員祝辞



参加者スナップ

午後：専門家と中国の企業との交流会

各国機関ごとにブースが準備され、殆ど1名と学生ボランティアの通訳1名の計2名で対応していた。我々技術士会は2名と通訳2名の4名で対応。来訪者には後で容易に連絡が取れるように WeChat ID を記述してもらう事にした。来訪件数はかなり多かったが WeChat を記入してくれた会社は 12 社と昨年よりは多かった。需給票も多くあった。関係ありそうなのを整理して選別する。



面談風景



技術士会ブースとボランティアの学生

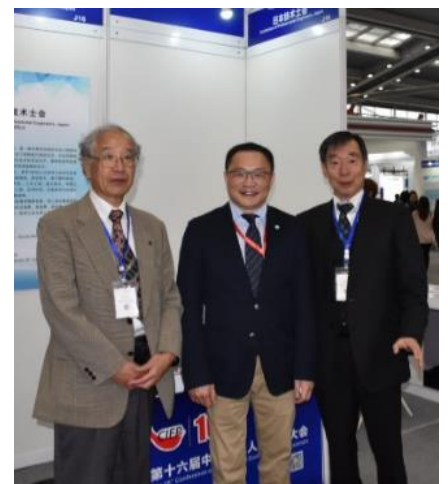
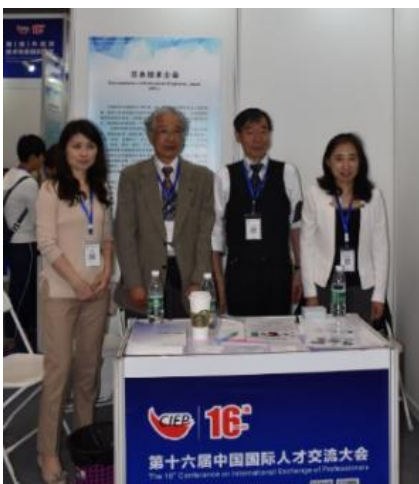
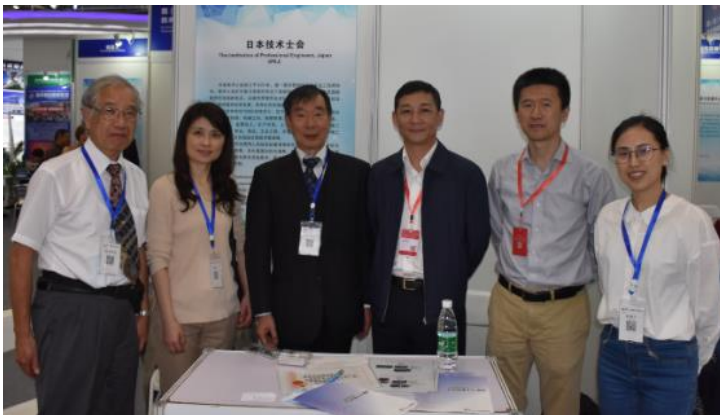
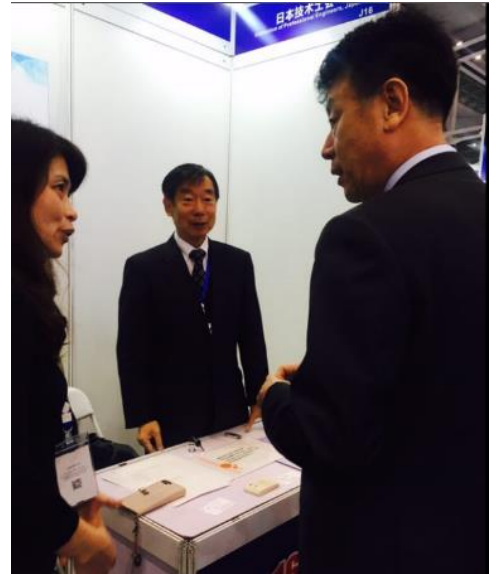
13日は東莞の発展展示場と近くの松山湖の散策を行なった。

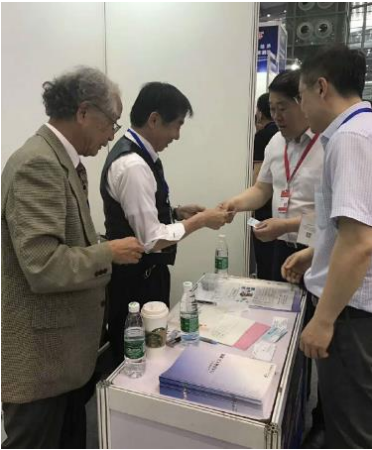
【2】深圳世界専門家大会

日 時 2016年4月14日-15日

技術士会のブースは中央度道路に面し、人通りも多く比較的好条件の場所であった。科学技術部の張建国副部長も来訪していただき大変光栄であった。会場への来訪団体は相当数の機関や来訪者が途切れなく、対応が非常に忙しかった。自費で深圳から参加した隆盛コンサルタントオフィスの顧静氏が対応を手伝ってくれ、手際よく進めることができた。浙江省、江蘇省、山東省はじめ多くの政府の方々に来訪していただき、知り合いも多くなり大変ありがたい事である。

14 日午後技術士の活動について説明スピーチを依頼され忙しい中に席を外さなければならぬ状況でも有った。その間、技術士会に TV のインタビューもあり顧静氏がインタビューとなって鈴木氏が技術士会及び活動を説明した。





収集した需給票は訪問リストに記述した会社を中心に、内容を見極め関係ありそうなものを技術士に発信したい。

他、日本シルバーボランティアの荻野健一氏、山田幸子氏、日中協会の何宣動氏、日中専門家協力促進会西沢和民氏、日中科学技術文化センター古麗扎提氏にも大変お世話になった。

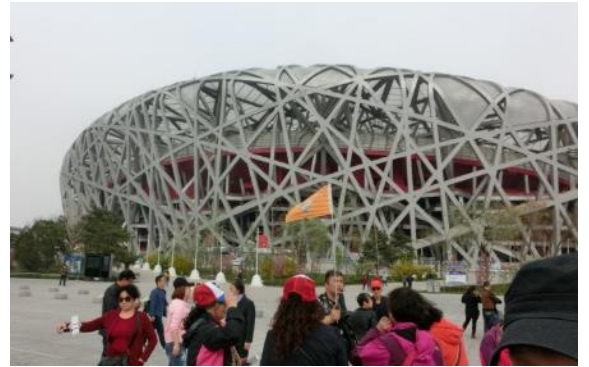
飛行経路概略



東京→北京→深圳→東莞→深圳→北京→東京と 8000Km 余りの距離を回った。
深圳と東莞以外の都市間の移動は全て飛行機なので移動した感覚はないが、各地気候の違いを感じ中国の広さを感じている。

10日 羽田→北京

北京宿泊ホテルは国家外国専門家局大廈。
2009、2016年に訪問した時と同じ。
北京オリンピックの鳥の巣の近くに有る。
現在記念公園となり、観光客で賑わっている。



11日 北京→紹興

北京から杭州へ飛行機で移動し、そこからバスで紹興のミラーレイクホテルに移動。
夏鳴九新副局長参加の国家外国専門家局主催晩餐会が
開かれ、招待者全員が集まった。大きな丸テーブル9ヶ
が用意され関係者及び地区毎のテーブルとなった。
夏副局長は陳化北元総代表の前に日本の総代表を勤め
ていたとの事で日本語が上手であった。
秋頃宁波市と交流会を開いたらどうだとの話もあった。
夜、数名で街に出て、魯迅の旧家等を訪ねた



12-13日 紹興

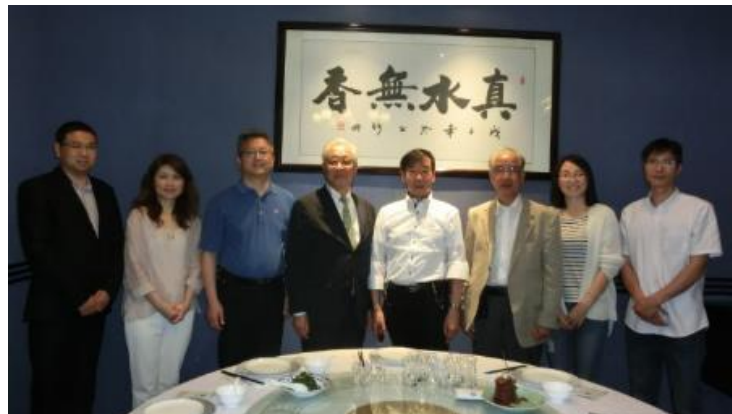
紹興プロジェクトフェア2日目の市内ツアーはホテル近くの庭園であった。



15-16日 深圳

海に近く蒸し暑さは日本の夏と同じ夜、通信会社の社長が夕食に招待してくれた。この業界は技術者の指導が必要であるとの事で有ったが、どのような技術者が必要かは、今後の課題であるとの事であった。

中国の社長は、必要性を感じると先ずは学者や技術者を集めて議論したいと考えているようである。



17日深圳→北京

北京来訪中に李躍民元総代表と国家外国專家局元副局長孫照華氏とお会いする機会が有った。

鈴木副委員長と4名で会食。

当初予定の宿泊ホテルが変わり、十数キロ離れた場所、タクシーで会食会場に行くことになった。

孫元副局長は、これからも今までの人脈を活用して企業との交流を進めてもらいたいので技術士会の協力もお願いしたいとの事であった。



18日 北京→羽田

朝6時ごろ天安門広場を散歩した。深圳とは気温も違い、少々肌寒く手袋が必要な感じ。

朝早くから中国人観光客が広場1/3程度を埋め尽くすほどの人・・・人・・・人。

厳重な警備と柵で通行場所を仕切っていた。



9時に專家局の車で飛行場に向かう。第二ターミナルでヨーロッパ人を降し、我々は第三ターミナルへ向かった。第三ターミナルは第二の隣と言う感じではなく別飛行場と思えるくらい遠いと感じた。北京空港は現在工事中で滑走路が1本。着陸と出発を交互に行っていて出発まで約2時間遅れだった。

今回は最初から最後まで雨に合う事もなく天候に恵まれてよかった。



この光景を見ると毎回想うのは、あ〜日本だ。

以上